

## 【視察先2】 ベジランド佐藤 佐藤純社長

### 1. 就農までの経緯

専業農家の長男に生まれ、大学卒業（土木系）後、土木測量の会社に3年間勤務。実家を継ぐことは考えていなかった。

学生時代からサッカーをしていたが、太白区選抜チーム（小学生）のコーチを引き受けるため、時間を自由に設定したいと考え、実家の家業である農業を継ぐことにした。

主にきゅうりを栽培していたが、ちょうどその頃「桃太郎トマト」が出てトマト人気が高まったことから、作目をトマトに決め、群馬県で1年研修を受け、26歳で就農した。



### 2. 経営の概要と特徴



トマトを中心に周年で葉菜類の小松菜やチンゲンサイの他、きゅうりやブロッコリーを生産。施設としては、鉄骨ハウス4棟、パイプハウス13棟。作業人員20名（うち正社員1名、パート15名）。

40年以上にわたりみやぎ生協と取引を行い、平成26年には宮城県担い手育成総合支援協議会の専門家派遣支援を活用し、家族経営を発展させて法人化した。

美味しさを追求した野菜生産と都市近郊農業の強みを活かした店舗への安定供給に加え、生協独自のGAP「安心くん」も取得し、主に生協8店舗（トマトについては、30店舗）に販売し、販売担当者、消費者の双方から高い評価を得ている。

土耕にこだわり、化学肥料を極力使わない栽培に取り組んでいるが、オランダでの研修等を参考に栽培方法について検討しているところである。

技術の向上、新たな販路の開拓とともに正社員の雇用・育成を行って事業の拡大を目指している。

### 3. 就農希望者に一言

時間に縛られた会社員からの脱却を目指して就農するなら、無理。収益をあげるためには、サラリーマン以上の労働が必要です。